

科目名	書道 I	単位数	2単位	学年（コース）	1学年
使用教科書	書1（光村図書）		授業形態	必修選択	
副教材等	ペン習字の基礎（教育図書）				

1 学習の目標

書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
 書道 I では、文字を素材とした表現活動を中心とし、さまざまな題材について表現のねらいをもちながら自己表現を展開していく。単に技術的な面の伸長を図るだけではなく、個々の芸術に対するとらえ方や考え方を深化させ、芸術と幅広く、かつ、主体的にかかわっていくことを重視する。

2 指導計画（時期、単元、学習内容、配当時間、考査等） ※印は鑑賞を含む

月	授業計画と授業の内容	時間	月	授業計画と授業の内容	時間	
4	○書へのいざない ・オリエンテーション ・最も太く書ける線 ・最も細く書ける線 ・「永」	20	10	○行書の古典 ※ ・集王聖教序 ・蘭亭序 ・争座位文稿 ・風信帖	28	
5	○唐の四大家 ※ ・顔氏家廟碑 ・九成宮醴泉銘 ・孔子廟堂碑 ・雁塔聖教序		11	○行書の制作 ・4種の行書より自選		
6	○楷書の古典 ※ ・牛撮造像記 ・鄭義下碑		12	○くらしの中の書 ・年賀状		
7	○楷書の書 ・新潟県競書大会課題		1	○仮名の基本 ・基本用筆 ・いろは歌		
8	○篆刻		2	・変体仮名 ○平安時代の古筆 ※ ・高野切第三種 ・高野切第一種		
9	・造像記による一字印の制作 ○小琴祭作品制作 ・漢字仮名交じり書		3	○仮名の書の制作 ・短歌俳句の制作		16

3 評価規準と評価方法

計64時間（55分授業）

評価は次の観点から行います。			
書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組んでいる。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な表現をするために書写能力を高め、用具・用材を生かして表現する技能を身に付けている。	文字や書の伝統と文化について理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
以上の観点を踏まえ、各時間提出を指示した「作品」・自分の制作過程や感想文など自己評価できる「作品カード」・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度）など、総合的に評価します。			

4 担当者から一言

書道 I では、これまで小・中学校で習ってきた書写の能力を向上させることの他に、古人の書を対象に、さまざまな書の美に触れ、感性を磨いていってほしいと思います。そしてこれらの活動を通じて自己表現することの楽しさを実感してほしいと思います。

（担当：井上）

科目名	書道Ⅱ	単位数	2単位	学年（コース）	2学年 教養探究コース
使用教科書	書2（光村図書）		授業形態	選択	
副教材等	ペン習字の基礎（教育図書）				

1 学習の目標

書道の創造的な書活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
 書道Ⅱでは、文字を素材とした表現活動を中心とし、身近にある題材や感動を表す語句を選んで表現し、また、さまざまな書風にふれることによって表現技術を高め、それらを創作に生かしていく。単に技術的な面の伸長を図るだけでなく、個々の芸術に対するとらえ方や考え方を深化させ、芸術と幅広く、かつ、主体的にかかわっていくことを重視する。

2 指導計画（時期、単元、学習内容、配当時間、考査等）

月	授業計画と授業の内容	時間	月	授業計画と授業の内容	時間	
4	○書と文化（篆書と隷書） ・書の変遷 ・甲骨文	20	10	○小琴祭作品制作 ・条幅作品制作	28	
5	・金文 ・泰山刻石 ・石鼓文		11	○漢字の書 ・行書 ・譜詞銘 ・祭姪文稿 ・風信帖		
6	○刻字 ・表札の制作 ○漢字の書 ・隷書 ・乙瑛碑 ・石門頌		12	○漢字仮名交じりの書 ・書きたい思いをことばに ・カレンダー制作		
7	○漢字の書の制作		1	○少字数作品制作 ・漢字1～3文字を自選		
8	・新潟県競書大会課題		○全紙への挑戦 ・テキストから自由選択			
9	○漢字の書 ・草書 ・木簡 ・十七帖 ・書譜		2	○小品制作 ・飾って楽しむ書		
			3	○実用筆 ・宛名書き ・履歴書		16

3 評価規準と評価方法

計64時間（55分授業）

評価は次の観点から行います。

書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組んでいる。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な表現をするために書写能力を高め、用具・用材を生かして表現する技能を身に付けている。	書の美の諸要素を把握し、文字や書の伝統と文化について理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。

以上の観点を踏まえ、各時間提出を指示した「作品」・自分の制作過程や感想文など自己評価できる「作品カード」・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度）など、総合的に評価します。

4 担当者から一言

書道Ⅰで学習してきた内容と技術をさらに深めていくとともに、表現の工夫を生かし、自らの思いや意図に即した表現を追求していただきたいと思います。
 （担当：井上）

科目名	書道Ⅲ	単位数	2単位	学年（コース）	3学年
使用教科書	書3（光村図書）			授業形態	選択
副教材等	ペン習字の基礎（教育図書株式会社）				

1 学習の目標

書道の創造的な書活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。
 書道Ⅲでは、文字を素材とした表現活動を中心とし、身近にある題材や感動を表す語句を選んで表現し、芸術的な表現だけでなく、実用的な表現も高めていく。単に技術的な面の伸長を図るだけではなく、個々の芸術に対するとらえ方や考え方を深化させ、芸術と幅広く、かつ、主体的にかかわっていくことを重視する。

2 指導計画（時期、単元、学習内容、配当時間、考査等）

月	授業計画と授業の内容	時間	月	授業計画と授業の内容	時間	
4	○刻字 ・半紙サイズの刻字板	20	10	○漢字の古典の臨書 ・開通褒斜道刻石 ・黄州寒食詩巻 ・李嶠詩雜詠	28	
5	・好きな漢詩を作品にする ・漢字（書体・書風は自由）		11	○くらしの中の書 ・パッケージデザインとしての書		
6	○漢字の書の創作 ・新潟県競書大会課題		12	○小品制作 ・飾って楽しむ書		
7			1	○卒業作品制作 ・自由選択		
9	○刻字（小琴祭作品制作） ・着色と仕上げ ・装丁		2	○実用書 ・手紙文		
			3	・宛名書き ・のし紙、金封の書き方		16

3 評価規準と評価方法

計64時間（55分授業）

評価は次の観点から行います。			
書への関心・意欲・態度	書表現の構想と工夫	創造的な書表現の技能	鑑賞の能力
書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組んでいる。	書表現の諸要素を感受し、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な表現をするために書写能力を高め、用具・用材を生かして表現する技能を身に付けている。	文字や書の伝統と文化について理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
以上の観点を踏まえ、各時間提出を指示した「作品」・自分の制作過程や感想文など自己評価できる「作品カード」・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度）など、総合的に評価します。			

4 担当者から一言

書道Ⅲでは、現代社会が自ら文字を書くことが減少してきていることを理解し、これまで学習してきたことを基盤とし、私たちを取り巻く様々な生活や文化の中に、書がどのように生かされているか、生かしていくべきかを自らの表現意欲の高まりへ、あるいは実践していこうとする高まりに発展できることを目指します。
 （担当：井上）